

12月3・4日開催

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

**総務経済  
常任委員会**

◎総務課所管

Q 選挙公営の件。なぜいまさらなのか。15万円の供託金は立候補の阻害要因ではないか。

A 公選法が改正された。無責任な立候補の乱立を防ぐためであり、一定の得票数があれば供託金は戻ってくる。(2ページ参照)

◆マイナンバーカードについて

Q セキュリティの心配があり、作る人が少ない。情報が漏れた場合の責任は誰がとれるのか。村が責任をとれるかどうかかわからないものを周知して良いのか。

A 普及は国策であり必要と考える。今後、保険証にもなる予定。

諸外国のようにデジタル化社会の構築に向けて必要である。

◎住民課所管

Q 防災マップは、今後どのような利活用をするのか。

A コロナ禍にあり住民説明ができない。有効活用について検討する。

Q 高齢者宅の住宅用火災警報器点検等をしてほしい。

A 社会福祉協議会等と連携し高齢者一人暮らし宅を訪問し、防火診断、点検交換等をしている。

Q ごみステーションの違反ごみなど利用マナーが悪い。周知してほしい。

A ごみ分別看板等を配付、設置している。広報等でさらに周知する。

◎税務課所管

Q 滞納整理スキルアップ支援事業について、県職員も臨戸徴収に

一緒に歩くのか。コロナ禍の中、預貯金や給与などの財産差し押さえの実施強化とあるが、まずは滞納者との相談が先ではないか。

A 県職員の支援員による臨戸徴収はない。あくまでも滞納整理に関する事務等の支援である。差押えの前に滞納者との相談が先であるのはもちろんであるため、今まで同様相談を受け付けるが、督促状や催告書等を送付していても連絡がない方等への徴収強化を図るものである。

Q 軽自動車税の滞納分は、種別ごとの台数把握はしているのか。

A 種別及び台数を把握している。必要に応じて現地確認もしている。

Q 確定申告の際、給付金の中で収入とならないものはあるか。

A 一律に支給された定額給付金は、収入に

はならない。

◎健康福祉課所管

Q 介護保険の認定率が昨年と比べ減少になった理由は、

A 予防事業の成果によるもの。また、死亡者の削除と総合事業への移行で、これまでの結果を精査したため。

◆新型コロナウイルス感染症関係

Q 成人式対象者のPCR検査の内容は、

A 1月7日～9日の間で検査。1日当たり64名の検査が可能。冠婚葬祭で帰省する者の配偶者も検査できるのか。

A 有料だが対象として扱っている。

Q ワクチン接種について、国は外国で承認されたものを予定している。安全性に関して抵抗がある人は拒否出来るのか。

A 強制にはならないと思う。受けない選択もある。

◎産業課所管

Q 今後、ジュピアランドで実施するイベント開催の計画は、

A 芝桜まつり、ゆり・あじさい園開園は実施を予定している。なお、実行委員会での東京五輪など今後の状況をみながら協議し決定する。

Q 地域おこし協力隊の活動報告は行うのか。

A 予定している。

Q 道の駅の借入金3000万円の返済計画として、指定管理費の増額等は考えているのか。

A 増額は考えていない。売り上げで返済していく計画である。

Q 薬草栽培事業は縮小なのか廃止なのか。その理由は、

A 事業縮小で考えている。品質の安定化と採算計画が描けないためである。

てはどうか。A 意見として頂戴し、検討します。

Q 竹破砕機が稼働するのであれば、以前の荒廃竹林整備を再開できないか。

A 過去の破砕事業では宅地周りの希望が多く、途中から農地のみと条件を絞った経過がある。オペレーター不在や作業中の安全管理の問題もあり、現在はジュピアで使用している。

(要望)  
・もともとは住民のために使用していた竹破砕機なので荒廃竹林整備について再度検討してほしい。

(意見)  
・乾そば配布について、コロナ対策とは関係ないという声を住民から頂いている。意見として言わせていただく。

◎地域整備課所管

Q 各種収納において、不納欠損となる状況はあるのか。

A 不納欠損となる状況はあるのか。

A 亡くなられた方や住所が特定できない方については、年度末に向けて整理する予定。

◎教育課所管

Q 統合されたことも園に配置された職員数は適正か。来年度以降の定員はどのようになるのか。

A 職員は統合前の職員が移行し、31人(用務員1名減)。現在の定員からは余裕を持った配置である。来年度以降は児童数、勤務体制に応じて検討する。

Q ひらた清風中のグラウンドは、完成3、4年経過後の土が固まってからトラック、暗渠の整備等を行うことになっていたらと思うが、いつ頃から整備を行うのか。

A 現段階では土が固まり落ち着いていて、水はけも悪くない状況なので、整備を行わなくてもよい状態。

なお、必要に応じて、検討を行う。

Q オンライン環境整備について、Wi-Fi環境が整っていない家庭へのルータ貸し出しを考えているのか。

A 貸し出す方向で考えている。通信料については個人負担になる。なお、地域の通信環境によっては使えない可能性もある。

Q 旧蓬田、小平こども園の備品等の再利用計画はあるのか。

A 具体的な計画は決まっていないが、使用できるものは再利用し、行政区等には無償で、個人には安価で譲渡すること等も視野に入れ、極力廃棄処分しないよう、有効な活用を考えた。

Q パークゴルフ場はどのような形で運営していくのか。

A 中央公民館が窓口となって運営する。春まで芝の植生状況を

みて、早ければ6月にオープンできればと考えている。

Q スクールバスについて、保護者の希望を取り停留所の設置を検討できないか。

A 台数の変更は難しいが、軽微な路線変更は可能。来年度の子どもの達の路線範囲分布状況を見ながら検討していく。

【総務経済常任委員会報告】

○現地視察について

社会資本整備総合交付金事業 村道草場清水線道路舗装修繕工事(西山字草場地内)等、村内9か所を現地視察しました。

- ・ 次の点について要請します。
- ・ 工事箇所について、現場内安全に取り組み工事が進められること。
- ・ イノシシ等による農作物の被害防止策の拡充と駆除体制の充実を望む。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大が続いていることから、引き続き経済対策等各種事業の取り組みを行うこと。

○請願

日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出請願 不採択

電気柵設置 (駒形字山田地内) ▶

▼プレート



▲河川災害復旧工事(永田字石坪地内)

文教厚生  
常任委員会

◎総務課所管

Q 住宅リフォーム助成について、民間に対しては個人財産に当たり助成できないとの回答だが、民間賃貸住宅建設費補助などアパート等に助成しており辻褄が合わないのでは。

A 住宅補助のメニューは、介護や定住促進などの目的を持った改修に助成すべきで、どのようなケースにも助成するわけではない。

◆財政について

Q 財政調整基金5億7千万円程度で、未曾有の大災害時に対応できるか。

A 年予算50億円の10%は積み立てが必要。減債基金は5億円程度あれば安定的に償還が可能。財政調整基金の積み過ぎがサージスの不足と捉え

られる面もあるが、コロナ禍での税収低下に備える必要がある。

Q 財政調整基金を取り崩しても、村民に還元する方策を検討しては。

A 交付金3次補正が1月に確定する予定で、村民1人5千円程度の追加配布が可能である。事業実施には申請が必要となるが、検討のテーブルには上がっている。

Q 令和3年度の地方債償還額はどの程度を見込んでいるか。

A 7.9億円程度を見込んでいます。

Q 令和3年度の実質収支の見込額は。

A 黒字を見込んでいるが、コロナ対策にどの程度必要か、地域経済対策をどの程度実施するかによって変わってくる。税収減の可能性もあり現時点では不明。

◎住民課所管

Q ヤスデ駆除は来年度も実施するのか。

A 来年度も予算要求し、実施する予定。

Q 1人当たりの国保医療費が8千円ほど安くなっている理由は。A 被保険者数の減少もあるが、新型コロナウイルスの影響で肝炎治療者の要治療者の通院者数が減少しているため。

◆マイナンバーカードについて

Q 申請補助、写真撮影は、今後行うのか。

A 12月以降も継続する。Q 申請のメリットは。

A 今申請すると最大で5千円分のマイナンバーポイントが付く。令和3年3月から保険証として活用でき、更新や限度額申請などの各種申請の手間が省ける。

◎健康福祉課所管

Q 人間ドック委託料を250万円減額しているが、今年度受診

できなかつた方は、来年度受診できるのか。

A 財政との打ち合わせ、病院側の受入数の協議もあるので、確定していない。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業とは。

A システム改修や接種券作成用の用紙代、印刷・封入業務委託費で、ワクチン接種体制の整備に係る費用。

◎産業課所管

Q 有害鳥獣駆除について、銃やワナの取り扱いができる隊員の確保が必要。新年度の予算編成時に検討できないか。

A 検討する。国や県でも重点施策になっている。豚熱感染のイノシシが天栄村でも確認されており、県の支援を受けて対応したい。

Q 水稲農家の支援について、米価支援の10

aあたり4千円はありがたい。しかし、米価下落が続くようではコメ農家の経営は成り立たないので、新年度予算編成時には、農家の作付け継続につながるような一時的な支援をお願いしたい。

A コロナ禍は農業、畜産業のような一次産業も影響が大きい。予算編成時には検討する。

Q 集落営農について、農地の集積や法人化への相談の対応は行っているのか。

A 普及所等と連携し、問い合わせに対応している。法人化にあたっては、ある程度の年間所得が必要で、法人税等の経費負担もあることから難しい状況。

◆プレミアム商品券について

Q 販売は、商工会に委託したのか。

A 商工会に委託した。

(要望)

・プレミアム商品券は広く地域の方に行き渡る工夫をお願いしたい。(要望)

・ジュピアの育苗センターを活用し、道の駅の出荷者が増えるような取り組みを行ってほしい。

◎地域整備課所管

Q 入山団地の取壊し計画はあるのか。

A 取壊しの方針は決定している。予算の関係で実施には至っていない。

Q 県施工の災害工事箇所について、資材不足による工事進捗の遅れが見受けられるので、再度県に申し入れできないか。

A 県・市町村・建設業者・資材生産業者を集めた協議会で、早急な対応ができるよう協議を行っている。

## ◎教育課所管

Q 学校祭などで発表が聞こえづらいようだ。ピンマイクなどを当初予算で要求し、整備してはどうか。

A アンプ等の性能で接続できるマイクの台数が限られることもある。ピンマイク、集音マイクなど種類は様々であり、何が適当なのかも含め検討したい。

◆公民館・保健センターの複合施設建設について

Q 複合施設にフィットネスクラブも入る計画だが、スペース的に充分なのか。長く使う施設であり、主管課としてどう考えているのか。

A まだ確定はしてはいない。計画の設計では狭いと感じる部分はあるが、いずれにしても村民が使いやすい施設にしたい。Q 公民館として設備等に関する要望は伝えているのか。

A 伝えている。実際、健診等で使用するの

は年間10日位であり、日程調整で公民館事業は可能と考える。

◆こども園について

Q 蓬田と小平の統合による送迎時の混雑や生活状況は。

A 開園直後、朝方は職員が交通整理を実施していた。混雑を心配していたが、スムーズに進んでいる。園生活も順調。部屋は状

況に応じて使い分け

し、園児の交流も順調に進んでいる。全天候型の園庭についても、園児が高い関心を示し、自発的な運動につながっている。遊具も充実しており、活発な行動が見受けられる。

(意見)

・よもぎ荘が近いので、幼老の相関関係による効果にも期待している。

## 【文教厚生常任委員会報告】

### ○現地視察について

学校施設環境改善交付金事業 小平小学校 体育館トイレ改修工事等、村内5か所を現地視察しました。

次の点について要請します。

- ・ 工事箇所について、今後冬期間となることから、現場内安全に取り組み工事が進められること。
- ・ 現在設計中の公民館・保健センターの複合施設について、利用者が余裕を持って効率よく利用できる施設となるよう検討すること。
- ・ 新型コロナウイルス感染症について、今後も感染症対策に取り組み、村民の健康維持に万全を期すこと。



勤労者体育センター耐震改修工事



村民テニスコート施設災害復旧工事



園生活を楽しむ子ども達。また、給食の時間は、みんなお行儀よく食べていました。(ひらたこども園)